

2021年度入試 入試説明会

# 入試問題の傾向と対策

( 国語 / 算数 / 理科 / 社会 )

慶進中学校

# 国語

## 入試問題出題傾向と対策

### 1 漢字・語句に関する問題：正しい知識を確実に積み重ねる

漢字の学習は、その漢字との出会いを大切にして取り組みましょう。読み方や書き順、漢字がもつ意味などをきちんと覚え、漢字の形をよく見て、正確に書き取りの練習をしていくことが大切です。間違えたまま覚えることがないように気を付けていきましょう。ことわざや慣用句、四字熟語といった語句の知識は、知ること、使用することで定着していきます。まずは知識を増やすために自分から積極的に本や新聞を読んだり、問題集を解いたりしましょう。そして知った語句を実際に使ってみましょう。例えば、先生が黒板に間違えたことを書いたとき、「弘法にも筆の誤りだ」と思うような感じです。自分の生活と結びついたときに、言葉は自分の中に吸収され、定着していくものだと思います。ぜひ参考にして、語句の知識を確実なものにしていきましょう。

### 2 文章読解問題：問われていることを正しく理解する

国語の授業を思い出してみましょう。先生が「ここってどういうことを言っている？」とか「主人公はどうしてこういう行動をとったのでしょうか？」というような質問をみなさんに投げかけたことはありませんか。慶進の入試問題でも同じように「下線部とはどういうことですか」や「下線部なのはどうしてですか」とたずねる問題が多くあります。まずは、問題が何をたずねているかを正しく理解することが大切です。例えば理由を答えなければならないのであれば、答えるときに「～だから。」と書く必要があります。下線部の中にむずかしい言葉があれば、その言葉がどういう意味なのかを本文の言葉をヒントに考える必要があります。せっかく本文の内容がわかっているのに、問われていることに正しく答えなければ、点数に結びつきません。本文を読むことと同じくらい、問われていることも大切にして問題を解いていきましょう。

### 3 作文問題：言いたいことには理由をつける

作文問題では、まずは自分の立場や主張・意見をわかりやすく書いて、その立場や主張・意見を最後までつらぬきましょう。途中で考えが変わってしまうと、読む採点者は、どちらの意見を言いたいのだろうと混乱してしまいます。次に、自分の立場や主張・意見を支える理由や根拠を書きましょう。慶進の入試問題では、会話文や資料が与えられることがあります。その場合は、会話文や資料を根拠に理由を述べていくと説得力のある作文になります。最後に、書いた作文は保護者の方に読んでもらい、評価をしてもらいましょう。保護者の方の視点から意見をもらうことで、みなさんの視野が広がったり、文章力を高めたりすることができます。

## 学力診断テスト(2020年度実施)の考察

### 1 漢字・語句に関する問題

漢字も語句も、知識として知らなければ解くことはできません。反対に言えば、知っていれば解くことができると言えます。コツコツ知識を増やしていくことが大切です。漢字は、例えば「暴徒」を「暴従」と書いたり、「山脈」の「脈」の字を間違えていたりしました。間違えやすい字については、何度も書き、正しく覚えるようにしていきましょう。

### 2・3 文章読解問題

2では、「ウナギ」について、絶滅危惧種であるウナギを守っていくために私たちが気を付けなければならないことなどが述べられています。設問をよく読んで答えの根拠となる部分をしっかりチェックして解答をまとめるようにしていきましょう。(三)では、「養殖のウナギを卵から大量に育てられない理由」が聞かれています。その根拠は、下線部①の4～6行後に書かれています。ここに線を引くなどチェックを入れて、答えをまとめていくとよかったです。

3では、大人っぽになりたい「私」と、大人っぽい「美貴ちゃん」との間で起こる出来事を中心に話が進んでいきます。「私」や「美貴ちゃん」の気持ちを表す言葉にチェックを入れながら文章を読んでいくとよいです。(三)では、「がっかりと肩を落とした」理由を答えなければなりません、「落胆した」や「がっかりした」などの気持ちを表す言葉が答えの中に入れられるとよかったです。

### 4 作文問題

レジ袋が有料化されて数か月がたちました。みなさんの生活はどのように変わったのでしょうか。自分の経験や学校で学んだことをもとに、レジ袋が有料化されることで、どんないいことがあるのか、またどんな良くないことがあるのか、述べようとしている答えがとても多かったです。レジ袋を有料化してレジ袋のごみを減らしても、プラスチックごみを多く減らすことができないということが資料3からわかると思いますので、そこから、具体的にどうすればプラスチックごみを減らせるかを提案できるとよかったです。

# 算数

## 入試問題出題傾向と対策

### ① 基本的な計算問題と、基礎力を問う一行問題を解くことのできる計算力を身につけよう！

整数、小数、分数の基本計算、四則の使い方や計算の順序、単位の変換、図形の基本的な知識を確認しておきましょう。大きな数や小数を含む計算でも正確に早く計算することや、工夫をしてより簡単な方法で計算することが大切です。継続して繰り返し練習し、計算力をつけましょう。入試ではまずこの力が得点源になります。

### ② 「思考力」を鍛えよう！

しっかりと考えて思いついたアイデアを試してみることが大切です。図をかいたり、そこに数値や補助線を書き込んだり、簡単などころから数字を一つひとつ当てはめたり、情報を整理しながら分類したりと試行錯誤してみましょ。そんな中でよいアイデアは生まれてきます。

### ③ 「判断力」を鍛えよう！

よく読むこと、正しく読むことが大切です。問題の文章やグラフの中には、問題を解くためのヒントがたくさんあります。思い込みで文章を読んだり、読み落したりせず、丁寧に正確に読み取って、そのヒントを上手に活用しながら問題を解いていきましょう。

### ④ 「表現力」を鍛えよう！

解答方法や考え方を記述する問題では、読み手がわかるような表現方法をするようにしましょう。計算式だけではなく、文章や図を利用してわかりやすい内容にする練習をしましょう。人に説明することや答案を人に見てもらふことで、相手に上手に伝えることができるようになります。

## 学力診断テスト(2020年度実施)の考察

### ① 小問集合

基本計算や穴埋め形式の計算、図形など各分野からまんべんなく出題しました。ここでの失点は全体の点数に大きく影響します。入試でもここは得点源となる部分ですので、自分ができる設問からしっかりと進めて、計算ミスなどがないようにしていきましょう。教科書で習う知識や問題を、抜けなく解くことができるようにしておきましょう。

### ② 図形の周の長さを求める問題です。図形に書かれている補助線を利用し、図形を分割して考えてみましょう。

### ③ この問題は与えられている(混み具合) = (人数) ÷ (面積)という計算の決まりに従って、計算していくことが重要です。この決まりから、(人数) = (混み具合) × (面積)、(面積) = (人数) ÷ (混み具合)ということも考えることができます。また、よくあった間違いとしては、(問 3)で「④にあてはまる最も大きい整数を答えなさい」と書かれているにもかかわらず、小数で答えているものがありました。問題文をよく注意して読みましょ。

### ④ 考え方の例をよく見て、それに倣って解くことが重要です。考え方の例に書かれているヒントがどのような意味をもっているのか考えてみましょ。また、(問 3)は問題文に書かれている「連続する9個の整数」という条件を使って解くことができます。

### ⑤ 会話文に書かれている内容を読み取り、問いに答える問題です。解き方や考え方が問題文の中に書かれているので、問題文をしっかりと読んで、問いに答えていきましょう。特に、(問 4)では<Kさんが作った表>を見て、ただ思ったことを書くのではなく、「様々な整数について○か×かを分類することができる」というような気付きを書かなくてははいけません。

# 理科

## 入試問題出題傾向と対策

### 1 新テストを踏まえて

- (1) 問題は3題構成。4分野(物理・化学・生物・地学)からの出題です。
- (2) 今年の学力診断テストでは、化学と生物でそれぞれ1題ずつ、物理と地学が融合問題で1題という出題形式でした。
- (3) 教科書レベルの文章や表・グラフを的確に読み取る力、考える力、表現する力を問う問題も出題します。
- (4) 大問ごとに「基本問題(知識問題)」や「応用問題(思考問題・記述問題)」があるので、全体を見たうえで時間配分を考え、解ける問題から解答しましょう。

### 2 知識量を増やそう

- (1) 教科書の本文の太字の用語について、4・5年生で習ったことも6年生で習うこととつなげて整理しましょう。
- (2) 学校の授業で先生が説明してくれたり、実際に取り組んだりした観察や実験について、観察や実験の内容を思い出しましょう。その観察や実験と関係することと身のまわりの現象と結びつけた学習をしましょう。
- (3) 直接問われるわけではないけれど、問題文で出ている用語で、理解度があいまいだったらよく確認しましょう。

### 3 読解力をつけよう

長めの文章から必要な情報を読み取る練習をしてください。まず、計算問題では、数や量を読み取る必要があるはずです。次に応用の問題では、キーワードになる用語についての説明や、表・図・グラフについての説明をよく読んで、その説明の通りに考えて答える必要があります。さらにグラフを使った問題ではグラフから変化(変動)の傾向をつかんだりすることができるようにしてください。最後に観察・実験の器具・道具や方法についての説明文を読んで、観察・実験の意図(目的や調べたいこと)を確認すると同時にどのような結果が出るのかについて知っておくことも大切です。

### 4 表現力(書く力・伝える力)を磨こう

文は読む人に正確に伝わるように書かなければなりません。そのためには文を短く書くことと、文と文を接続語でつなぐことを心がけましょう。「知っていることをすべて書きたい!」という思いを前面に出して、文が長くなると、途中で主語が変わってしまい、要点が伝わりにくくなることがあります。これまでの問題の模範解答の表現を「覚える」ではなく、「まねをする」・「盗む」ことを心がけて自分の言葉で書くようにしながら、是非、「自分のもの」にしてください。まわりの方々に自分の書いた答案の文章を見てもらうことも大切です。表現力が豊かになれば、読解力が伸び、さらに表現力も伸びてくるはずです。

### 5 思考力を鍛えよう

科学雑誌・新聞の科学の記事やテレビ番組などでさまざまな現象を見て、「不思議だ!」、「なぜだろう?」と思うことがあると思います。何か一つ疑問に思うことに対して、すぐに調べてしまうのではなく、自分の知識を最大限に活用して自分なりの結論をまとめてみましょう。自分で考え、説明する練習にもなります。ただ調べただけだと、「また調べればいいのか」と自分の知識として定着しないことが多いですが、一度自分の頭で仮説を立てた後に調べると、仮説と合っていない間違っていても定着する傾向が高いです。

## 学力診断テスト(2020年度実施)の考察

全体にわたって読解力・思考力・表現力を問う問題が出題されます。教科書の知識(重要語句など)を問う問題もありますが、その内容から発展させた内容や、日常生活に結び付けた内容を多く出題しました。

- 1 化学分野の「状態変化」に関する問題です。小学校では4年生で「水のすがたの変化」を学習しますが、そのことを日常生活に結び付けて考えることが大事でした。日常生活で起こっている現象に興味をもち、一度でも調べたり、確かめると解くことができる問題が多いですが、応用力を問う出題でした。
- 2 生物分野と地学分野を融合し、日本の四季を通して出題しました。感染症の流行の原因や、日照時間が四季によって変化する理由など、ここでも日常生活との関連知識が必要となる出題が多かったです。
- 3 物理分野の「ふりこの運動」に関する出題でした。データが多く与えられていますが、どこどこが変化しているかを見極め、必要なデータを選ぶことができるか、活用することができるか、ということ問う問題でした。「ふりこは長さしか1往復する時間に影響しない」という知識があり、そのことをベースに考えると、比較的解きやすかったかと思います。

# 社会

## 入試問題出題傾向と対策

例年通り、小学校で学習する基本的な内容を中心に出题しますが、今年度は新型コロナウイルスにともなう休校への措置として、歴史内容の出題が大幅に減っています。その分、日常生活に関する問題や、読解力・思考力を問う問題の割合が増えています。

対策としては、『教科書』『地図』『新聞・ニュース』をしっかりと使って学習してください。教科書の本文だけでなく、図・写真・グラフなどを確認しておくことも大切です。また、与えられた資料をもとに考えれば正解にたどり着ける問題も出題されます。知識の丸暗記ではなく、理解することを意識して勉強に励みましょう。

### 1 地図・生活:「落ち着いて解くこと」が大事

地図の読み取りや、日常生活に関係する知識を問う問題です。どちらも難しい知識は必要ありませんので、本番では落ち着いて解くことが何より大切です。ただ、地図を読むときには「地図記号」の知識は必要となります。形の成り立ちとともにしっかりと覚えておきましょう。

### 2 地理:地図をしっかりと活用して

日本の都道府県や県庁所在地は重要です。場所とともに覚え、漢字で書けるように対策しておきましょう。また、気候・農業・工業については地図で場所を確認しながら、各都道府県の特徴を押さえてください。教科書だけでなく、普段から新聞やテレビ、日常生活の中で地理的な知識を身に付けることが大切です。

### 3 時事・総合:毎日の積み重ね

日本や世界のできごとなどを題材に問題を作成し、そのできごとに関連した総合的な問題を出題しています。日頃からニュースや新聞を見て、世界の出来事に関心を持ちましょう。ニュースを見るだけでなく、自分で詳しく調べてみることで、理解を深めることができます。

### 4 資料読み取り:正しく、丁寧に読む

問題の内容をよく理解して、解答することが大切です。与えられた資料は何を示しているのか、どの値が一番大きいのか、解答するときに注意すべきことは何かなど、グラフや問題文を丁寧に読み解きましょう。難しい知識は必要ありませんので、**1**と同じく、落ち着いて解いて解くことが大切です。

## 学力診断テスト(2020年度実施)の考察

**1** 問1は地図に関する問題です。よく使われるおもな地図記号はぜひ完璧に覚えてほしいと思います。その際、地図記号の成り立ちから理解すると覚えやすくなります。問2は火災に関する問題です。実際に火災が起きている場面を想像すると答えることができたのではないのでしょうか。どちらの問題も難しい知識は必要ありません。繰り返しになりますが、「落ち着いて解くこと」が大切です。

**2** 地理分野からの出題です。日本の都道府県と県庁所在地に関する問題は学力診断テストでも入試でも毎回出題しています。場所と漢字を確実に覚えておきましょう。(問3)や(問5)は、地域ごとの特徴を問いました。気候や産業、人口には関連があります。丸暗記するのではなく、地図で場所を確認しながら、その要因を理解することが大切です。

**3** 時事問題・総合問題です。世界各国の国名や国旗、政治家など、日頃からニュースや新聞に目を通していけば解くことができる問題を出題しました。受験生の中で、点数の差が大きく開いた大問です。時事問題の知識は教科書に載っているものではなく、すぐに身につくものでもありません。世界や日本で今何が起きているのか、日頃から意識して情報を集めましょう。

**4** グラフの読み取り問題です。与えられたグラフを正しく読み取る力と、与えられた課題に対して自分の考えを述べる力を問いました。(問3)は、空き家の増加を防ぐための対策を考えて答える問題でしたが、問題文の「自分が市役所の空き家対策担当の職員であれば……」という部分が読み取れておらず、内容の不十分な答案が目立ちました。まずは問題文をしっかりと読んで、何が問われているのかを理解するようにしましょう。